

この説明書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読みください。

第2類医薬品

葛根湯エキス配合 救心のかぜ薬赤箱

「かぜは万病のもと」といわれ、こじらせるといろいろな病気をひき起こすようになります。さむけがする、くしゃみや鼻みすがでる、頭が痛いといったひきはじめのうちに、できるだけ早く治療することが大切です。

救心のかぜ薬赤箱は、古くからかぜの治療に用いられてきた漢方処方^{かっこんとう}「葛根湯」のエキスに、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、鎮咳去痰剤などを配合したかぜ薬です。漢方薬と洋薬の特有の作用で、かぜの諸症状にすぐれた効きめをあらわします。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる〕

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと (眠気等があらわれることがある。)

4. 服用前後は飲酒しないこと

5. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 高齢者
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (5) 次の症状のある人 高熱、排尿困難
- (6) 次の診断を受けた人 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をすときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

□のかわき、眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効 能

かぜの諸症状（悪寒、発熱、頭痛、くしゃみ、のどの痛み、鼻みず、鼻づまり、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

食後なるべく30分以内に水またはお湯で服用すること

年 齢	1 回 量	服用回数
大人（15才以上）	1 包	1 日 3 回
11～14才	$\frac{2}{3}$ 包	
7～10才	$\frac{1}{2}$ 包	
3～6才	$\frac{1}{3}$ 包	
3才未満	服用しないこと	

(1) 用法・用量を厳守すること

(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること

成分と作用

救心のかぜ薬赤箱は、黄かっ色～かっ色の顆粒で、3包（1包1.2g）中に次の成分を含んでいます。

成 分	3包中	作 用
葛根湯乾燥エキス （カクコン1.6g、マオウ0.8g、 ショウキョウ0.2g、タイソウ 0.8g、ケイヒ0.6g、シャクヤ ク0.6g、カンソウ0.4g 全量 5gより抽出した乾燥エキス （漢方薬）	800mg	漢方医学の原典『傷寒論』に収載され、古くからかぜの治療に用いられてきました。特に、かぜのひきはじめに効果的で、発汗をうながし、悪寒、発熱、頭痛などを軽快させます。
アセトアミノフェン （解熱鎮痛剤）	720mg	熱を下げ、頭痛やのど、関節、筋肉などの痛みをしずめます。
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 （抗ヒスタミン剤）	3.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。
チペピジンヒベンズ酸塩 （鎮咳去痰剤）	75mg	せきをしずめ、たんを切ります。
無水カフェイン （カフェイン剤）	150mg	痛みをしずめるはたらきを助けます。

添加物として乳糖、サッカリンNa、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、ヒドロキシプロピルスターチ、セルロース、無水ケイ酸を含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話：03-6861-9494

受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日、弊社休業日を除く）



救心製薬株式会社
東京都杉並区和田1-21-7